

## 天然貝化石

天然貝化石は、太古の海中に棲息した魚貝類が地殻変動によって埋没堆積し腐植化したものを乾燥、粉碎、精製した特殊肥料です。

### 特性と効果

土壌の団粒化と通気性を高め、根群の健全な生育を促進します。  
酸性土壌とアルカリ性土壌のpHを効果的に中和します。  
土壌の保水力、保肥力を増大し、地力を高めます。  
土壌の深部まで浸透し、有益微生物の繁殖活動を盛んにします。  
細胞壁を強くし病気や虫害から作物をまもりまします。  
農作物の基肥、追肥いずれにも使用でき、また連用もできます。  
堆肥(有機物)と混合することにより、さらに地力を高めます。  
家畜のふんの処理にも使用できます。  
重金属や有害成分が含まれておりませんので安心して使用できます。

標準施用量(20kg袋詰10アール当たり) 果樹類は 10~12袋

phの低い所は、上記以上の施用が必要です。  
ハウス関係は、上記の2倍以上の施用が必要です。  
初年度、大量施用で、土壌を矯正すると2年目以降の施用は暫減します。

## マメコバチ

マメコバチは日本の中・北部に広く分布している野生ハナバチで、バラ科の果樹を好んで訪花する抜群の受粉能力を持った花粉媒介昆虫です。  
人工授粉という非効率な又わずらわしい農作業から開放されるためにご利用下さい。このハチは果樹園のような人工環境でも、容易に飼養できるので、上手にマネージメントすれば、毎年安定した結実率を図ることができます。

### 営巣場所の条件

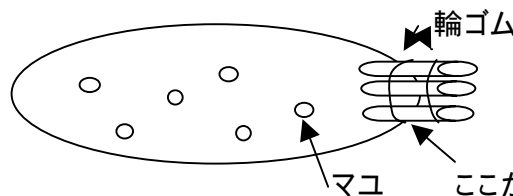
東向きで早朝の太陽光線を取り入れられる場所。  
高角度の太陽光線を遮断できる場所。  
風が吹きぬけない場所。  
雨が降りこまない場所。  
増加するハチを収容できる場所。  
地上から少なくとも、60cm以上高い場所。  
鳥、ネズミ、殺虫剤の散布から保護を講ぜられる場所。

### 必要営巣個体数(りんごの実験結果)

果樹園では少なくとも100mに1ヶ所の割りで営巣場所が必要。  
1ha当たり500~600匹の営巣バチで毎年高い結実率を維持できます。

### 種バチの放し方(マユ)

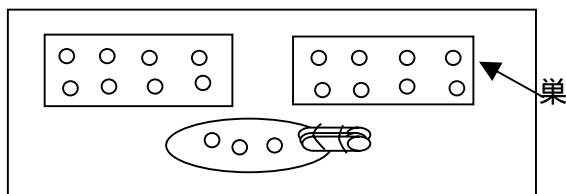
マユをビニールに入れる。  
マユの入ったビニール袋の口部分に、図の様にパイプを輪ゴムにて止める。  
1袋に1箱35g(500匹位)を入れる。



マメコバチは1回お買い上げいただければ毎年2、3倍に増えていきます。

ここから光が袋に入らぬようにしっかり止める。

巣筒と一緒に設置する。



マユから蜂になると、パイプの中を通り巣から出ます。

注 ハチがパイプを通して出るようにしないと、メスバチの定着率が悪くなります。

ハチが全部出たら袋をしまいハチが、巣を作れるようにしておく。

アスク工業(株)発行のマメコバチマネージメントから引用